

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成30年 5月11日
長野地域振興局

提出区分	実績						
整理番号	5	課題区分	C				
実施機関	長野地域振興局			担当課	所属	商工観光課	
事業名	長野果物語りで魅力ある地域づくりを目指す (果物を活かした新商品開発支援による付加価値の向上)				電話	026-234-9528	
					E-mail	nagachi-shokan@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	売れる新商品開発・地域内経済循環					
	現状と課題	マーケットを意識した商談提案が十分ではない ・H28年度 東北信うまいものまるごと大商談会に参加した百貨店、卸売業者等意見付加価値を高めた商品開発が必要である ・同上 農業者、食品加工業者の意見					
	内容 (変更後の内容)	長野地域振興局内に新商品開発支援チームを設置し、需要者(宿泊者、飲食業、学校給食、お土産店など)と各種支援機関との連携により、実需者ニーズを踏まえ、商品の企画から販売までの支援又は各段階別の必要な支援を行う。					
	事業期間	平成29年4月1日		～	平成30年3月31日		
	成果目標	新商品の企画・開発・製造・販売を支援し、売れる商品を生み出す					
事業費等	事業費	305,730 円				(単位:円)	
	節区分	主な内容	当初計画額 a	変更計画額 b	実績額 c	差引 b-c	備考
	8報償費	専門家謝金	153,600	0	0	0	
	9旅費 (内部事務)	職員旅費	111,600	105,120	109,170	△ 4,050	
	9旅費 (財務)	専門家旅費	78,960	0	0	0	
	11需用費	会場費、パンフレット作製費	155,840	19,440	19,440	0	
	14使用料 及び賃借料	機械器具借上料	0	177,120	177,120	0	
計		500,000	301,680	305,730	△ 4,050		

	事業実績	事業の成果	評価
事業実績・成果	<p>・地域振興局内に支援チームを設置</p> <p>1 『あんず』を活用したスイーツ開発(長野市松代菓子製造3店舗)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野市松代産の杏を活用した新商品を開発し、松代地域の銘菓と発信できるよう、長野市、菓子製造3店、杏供給業者と連携して支援を行った。 ・新商品開発に向けては、専門家派遣によるマーケティングに関する助言、商談会出展によるバイヤーからの意見・ニーズ把握、販路開拓支援、完成した3商品をTSB「冬の祭典」及びながのスイーツフェアで販売し、PRを実施。  <p>松代あんずスイーツ</p> <p>2 『りんご3兄弟』を贅沢に使ったアップルパイ開発(エコーンファミリー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NAGANOりんごWEEKを開催するにあたり、観光客に向けたホテル朝食での提供のほか、地元の皆さまにもPRするため、地元産りんごを利用したお菓子を製造しているエコーンファミリーに相談。 ・エコーンファミリーに、りんご三兄弟をご案内するとともに、原材料の供給先として、共和園芸農業協同組合などをご案内。 ・WEEK期間中については、それぞれの特徴を生かした味付けを行なった「アップルパイ」を製造し販売。 ・農福官連携により、原材料の試供、商品PR等を支援し、完成商品をTSB「冬の祭典」及びながのスイーツフェアでPRを実施。 <p>3 『りんご』のドライフルーツの製造工程で得られる副産物の商品化(株はねげん)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パティシエ鎧塚氏からの助言・意見聴取、長野県工業技術総合センターによる商品特性の分析、商談会出展によるバイヤーからの意見・ニーズ把握、販路開拓を支援した。  <p>はねげん副産物商品化</p>  <p>商談会出展時の様子</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長野市等と連携して支援した結果、長野市松代産の杏を使用した3つの新しいお菓子を開発することができた。 ・開発した新商品をイベントでPR・販売したことによって、松代産の杏を活用した商品の認知度が向上した。  <p>TSB「冬の祭典」のPRブース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な機会を通じPRした結果、予想以上の売り上げ(前年比20%)を記録。 ・これからの時期は、りんご三兄弟の中でも貯蔵性に優れる「シナノゴールド」を利用したものを製造予定。  <p>エコーンファミリー 特製アップルパイ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副産物のパッケージ化による商品化や販路開拓支援を行った結果、バイヤーとの商談が成立し、菓子材料としての取引に繋がった。また本新商品は、平成30年度製造分まで予約完売。 	<p>○ 期待以上</p> <p>● 期待どおり</p> <p>○ やや下回る</p> <p>○ 期待以下</p>
	今後の方向性	<p>食品産業製造品出荷額等が県内1位という長野地域の強みを生かせるよう、果物を生かした新商品の開発について、宿泊業や飲食業などの実需者のニーズを踏まえて企画から販売までを支援する。</p> <p>具体的には、①果物新商品開発支援チームによる支援、②専門家の派遣によるアドバイス、③首都圏等の展示会などへの出展支援④インバウンド向けのお土産開発支援及び首都圏等での商品PR支援を行い、長野地域の果物加工食品の付加価値向上、ブランディング効果、認知度向上に繋げるとともに、インバウンドへの消費喚起を図る。</p>	